

食クラスター連携協議体(FC/NW)に

参加しましょう！

～ 今、北海道は食の新時代へ ～



「食クラスター連携協議体」発足式開催

5月19日(水)、京王プラザホテル札幌において、道内の食関連企業、金融機関、経済団体、業界団体、支援機関、大学等250名の参加のもと開催しました。

(写真：(左から) 柚原経産局長、菅原北海道信連会長、近藤道経連会長、高橋知事、丹保道総研理事長、高向道商連会頭、坂本観光振興機構会長)

私たちと一緒に「北海道の食の新時代」を切り開いて見ませんか！
食クラスター連携協議体(FC/NW)では、「北海道の食」の発展を願う多くの方々の参加とプロジェクトの提案をお待ちしています。

(現在、プロジェクトをお持ちでない方も参加して下さい。皆さんが連携・協働のパートナーとなる可能性があります。)

「食クラスター」(FC/NW)の本格展開について

～ 今、北海道は食の新時代へ ～

厳しい北海道経済

- ・人口減少
道経連予測：
2005年：約563万人
2040年：約414万人
- ・公共事業縮減
*開発予算はピーク時の1/2以下
- ・厳しい雇用情勢
*低い有効求人倍率と高い失業率
- ・道民貯蓄減少
(H8：約4兆円 H19：約1.3兆円)
- ・域際収支の赤字(1.5兆円)
ただし、「食」は域際収支の優等生

北海道は「食」とともに発展

(生産額(出荷額)は、農業：全国1位、漁業：1位、食品工業：2位)

「食」の北海道ブランドは道外、海外へ

- ・都道府県別魅力度ランキング1位(2位京都)。
- ・道東を舞台とした映画「非誠勿擾」(邦題：狙った恋の落とし方)が中国で大ヒット(観客動員数3億人)

課題：低い付加価値率(食品工業)

付加価値率：H20年：北海道 27.6% 全国 33.0%
食料品：出荷額2位 GDP12位(H18年)

(データ出所：財日本政策投資銀行北海道支店経済ミレポート)

→ 北海道の農業・食料品などの付加価値が全国トップ水準()に達したら…(北電総研試算)

道内付加価値額は約7,800億円(売上高は約1.1兆円)増加!
(トップ水準＝農業：関東1.14倍、食料品：四国1.37倍)

これまでの取組

産業クラスター、農商工連携、地域資源活用などにより「発展の芽」が創出



それぞれの企業や

地域の取組に

留まっているものが多い

産学官金の連携・協働によるオール北海道の推進体制(食クラスター)を形成し、北海道ならではの食の総合産業(一次・二次・三次)の確立に全力で取り組む

雇用・所得・人材を確保し、北海道経済を牽引!

「食クラスター」の本格始動(平成22年4月)

- ・北海道経済連合会 「食クラスターグループ」を新設
- ・JA北海道中央会 「食クラスター連携協議体」発起人として積極関与
- ・北海道経済産業局 参事官(食関連担当)を新設
食クラスター関連予算として約350百万円を確保
- ・道 経済部に「食関連産業振興室」を新設
食クラスター関連予算として20事業(約758百万円)を措置
総合振興局・振興局の「食」関連体制を強化(例：渡島 「食と観光振興室」、上川 「食関連産業振興室」)
北海道立総合研究機構 「食クラスター」支援組織を設置

「食クラスター連携協議体」発足(平成22年5月)

【構成】食や幅広い関連産業、大学・試験研究機関、支援機関、行政機関など

【事業(プロジェクト)】 高付加価値化(技術開発、新事業、生産性向上等)に向けた取組
マーケティング・販路拡大の取組
道内外からの投資促進(企業誘致など)に向けた取組
普及促進のための取組

【活動のポイント】

- 1 付加価値(利益、儲け)の向上を加速
- 2 マーケット志向を強化 道外・海外へ!
- 3 これまでの取組を発展。多くの新事業(プロジェクト)創出に挑戦
- 4 食+関連産業の協働による総合産業化
- 5 地域での展開と全道レベルでの展開

食クラスター活動の本格展開

地域の自立、北海道の自立へ!

「食クラスター連携協議体(FC/NW)」の活動について

生産者（農業者、漁業者等）や食品加工などの食産業、観光、流通、ものづくり（機械）、IT、建設などの関連産業のほか、研究機関、産業支援機関、金融機関、消費者団体、行政など「北海道の食」の発展を願う多くの方々から参画し、連携と協働により、各種事業（プロジェクト）を実施します。

事務局や支援機関で構成する「全道レベルのサポート体制」や道の14（総合）振興局に設置した「地域推進体制」が、様々な活動を支援します。

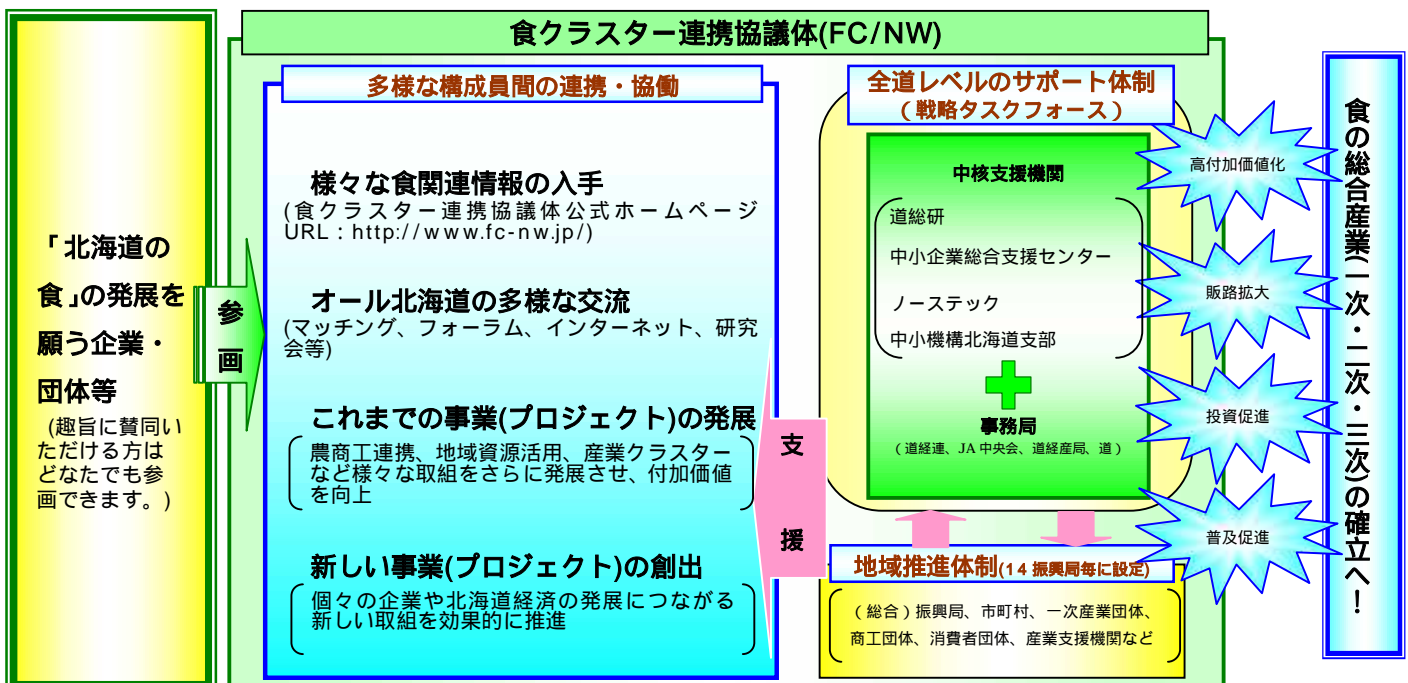
経産局や道の食クラスター関連事業予算や各種の支援施策の活用により、効果的な事業展開を行います。

〔事業内容〕

- ・ 高付加価値化（技術開発、新事業、生産性向上等）に向けた取組
- ・ マーケティング・販路拡大の取組
- ・ 道外からの投資促進（企業誘致など）に向けた取組
- ・ 普及促進のための取組や調査・提言など

〔活動のポイント〕

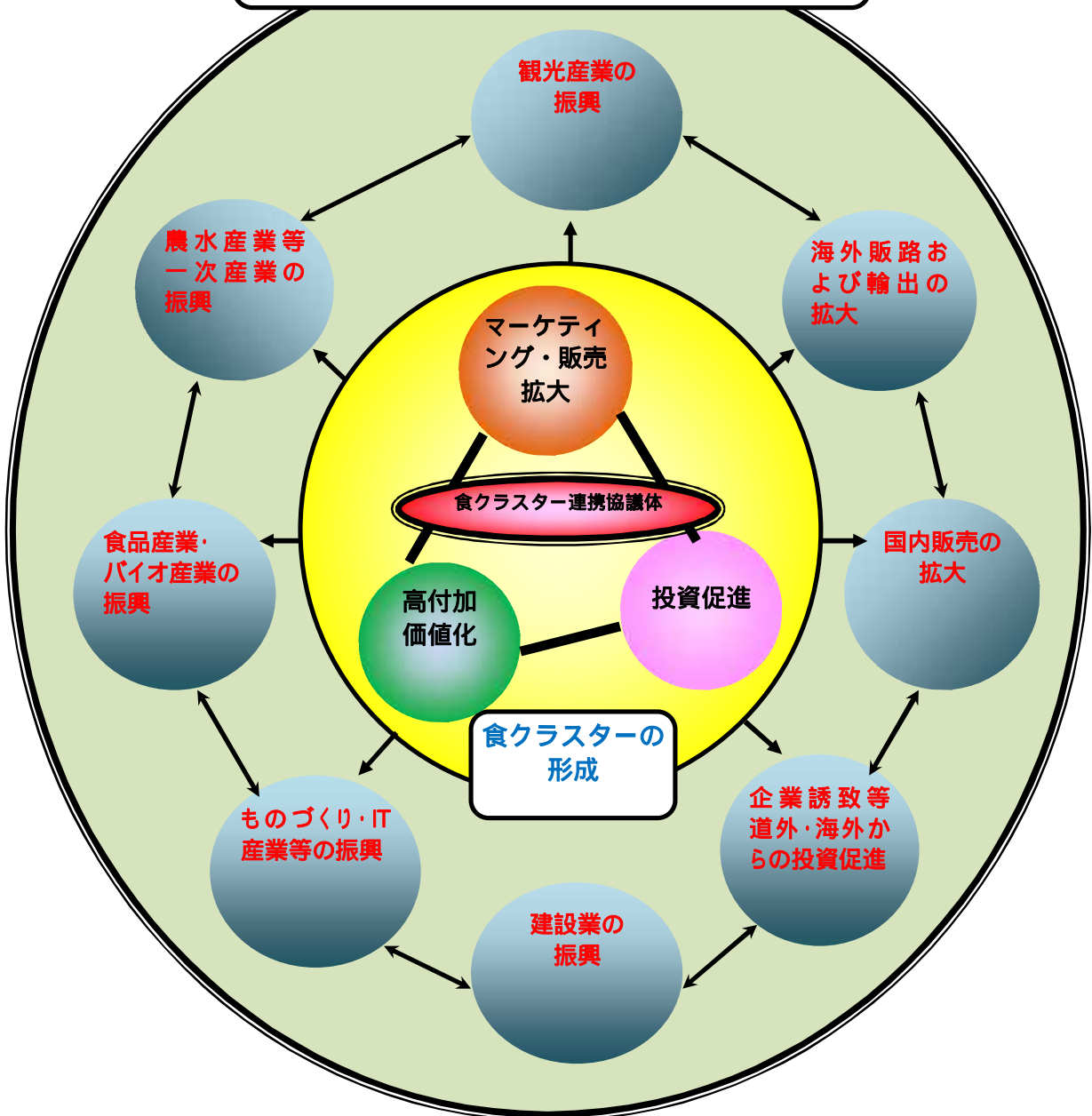
- 1 付加価値（利益、儲け）の向上を加速**
付加価値を向上させるための多様で具体的な取組への挑戦を連携・協働により加速し、雇用・所得・人材の確保に結びつけていきます。
- 2 マーケット志向を強化 道外・海外へ！**
消費者ニーズにマッチした高度なマーケティングを進めるとともに、道外市場や中国を始めとする海外市場に向けた新しいセールス・プロモーションに取り組みます。
- 3 これまでの取組を発展。多くの新事業(プロジェクト)創出に挑戦**
発展（普及）可能性の高い商品・技術・サービス等の発掘・開発・普及を図るとともに、各地域の取組に共通する課題の解決に向けた情報・ノウハウを提供することに取り組むほか、新事業（プロジェクト）の創出にチャレンジします。
- 4 食 + 関連産業の協働による総合産業化**
食産業と関連産業の相乗的な発展を願う事業（プロジェクト）を推進し、効果的なバリューチェーン(価値連鎖)の形成に努め、北海道ならではの食の総合産業（一次・二次・三次）の確立に繋がります。
- 5 地域での展開と全道レベルでの展開**
各総合振興局・振興局ごとに、地域の特性を踏まえた推進体制を整備し、地域の取組にきめ細やかな対応を行うとともに、全道レベルでは地域との連携による機動的で実効性のある取組を進めます。



食クラスターのイメージ

雇用・所得・人材を確保し、自立的な地域社会を実現

食の総合産業の確立



食クラスター連携協議体(FC/NW) Q&A

Q1 「食クラスター連携協議体(FC/NW)」への参画のメリットは何ですか？

A1 連携協議体(FC/NW)に参画することにより、食に関する様々な情報が入手でき、また参画者間の多様な交流の推進により、プロジェクトの発展や、それぞれの参加者の持つ課題や問題点の解決が容易となり、さらに、食クラスターに関する様々な事業への参画も可能となります。また、FC/NWは、参画者の意見を聴取し、国や道が行う新しい施策に反映されるよう努めます。

Q2 連携協議体(FC/NW)への参画は有料ですか？

A2 参画は無料です。なお、FC/NWでは、食関連の様々な事業の情報を提供することとしており、これらの事業の中には有料のものもあります。

Q3 現在、事業(プロジェクト)を持っていなくても参画できますか？

A3 今の時点で事業(プロジェクト)がなくても、FC/NWの趣旨に賛同いただける方であれば、幅広く参画いただけます。なお、参画した方が他のプロジェクトのパートナーとなる可能性もあります。

Q4 「オール北海道」ということは道外や海外の方は参画できないのですか？

A4 付加価値を高めるためには、道外や海外の市場動向を捉えながら生産や加工をしていくことが必要です。また、道内へ必要な投資をしていただくことも重要なことです。このため、この活動に賛同する道外・海外の方々にもFC/NWに参加していただき、現実的で効果的な取組にしていきたいと思っています。

Q5 食クラスターのプロジェクトとはどんなものですか？

A5 FC/NWで行われるプロジェクトの要件は「食分野(P3の「食クラスターのイメージ」を参照)に関するもので、提案者が他の参画者との連携・協働を得て取り組もうとする(又は、さらなる発展を図ろうとする)」もので、「本道の経済発展に資するもの」です。プロジェクトの提案者は企業、大学、研究機関をはじめ、FC/NWに参画する方であれば、誰でもなることができます。また、農商工連携や産業クラスターなど複数の者で取り組んでいるものは、「限られた範囲での参画者だけで運営したいもの」以外は全て対象になりますし、1社だけで取り組んでいるものでも「他者との連携・協働」を志向するものも対象となります。ご提案いただくプロジェクトの規模は問いません。小さな取組でもそのことが成功することにより、確実な経済効果が得られると考えられるほか、他の取組への波及も期待できます。多くの方の連携・協働が必要な大型のプロジェクトももちろん大歓迎です。

Q6 プロジェクトを提案するメリットは何ですか。また、どのように扱われるのですか？

A6 提案のあったプロジェクトは、連携協議体(FC/NW)に設置された戦略タスクフォースにおいて「検討・協議」し、提案者とともに適切な進め方を見出すこととしており、プロジェクトの効果的な展開に向けた支援体制や支援方策等の検討が行われることから、プロジェクトの実施にあたっては、連携協議体によるサポート体制のもと、他の参画者との「連携・協働」による効果的な取組の展開が可能となると考えられています。

Q7 プロジェクト提案により、これまでの取組に制限が加えられたりしませんか？

A7 プロジェクトはあくまで提案者のものですので、提案者の意にそぐわない方向への誘導や提案者を離れた検討は行われません。

Q8 「FC/NW」とは何の意味ですか？

A8 今回の活動は「今、北海道は食の新時代へ」というコピーを採用することとしました。「FC(FoodCluster)」は「食クラスター」を、「NW」はNetWork(連携)、NewWave(新しい波)、NorthernWind(北からの風)など様々な意味合いを込めています。なお、FC/NWは検索エンジン(GoogleやYahoo!など)で新用語ですから、インターネット上でも「北海道ならでは」です。

送信先：食クラスター連携協議体事務局（FAX:011-221-3608）

参画申込書

～参画申込に係る費用は無料です！～

(フリガナ) 会社・団体名 個人事業主 (個人含む)			
(フリガナ) 代表者名 役職記載のこと			印
住 所	〒		
電 話	()	-	
F A X	()	-	
業 種 (をつけて下さい)	農業 林業 漁業 建設業 製造業(食料品) 製造業(機械器具) 製造業(その他:) 情報通信業 運輸業 卸売・小売業 金融・保険業 不動産業 飲食店・宿泊業 医療・福祉 教育・学習支援業 サービス業(その他:) 公務		
事業内容			
(フリガナ) 担当者名		役職	
メールアドレス	@		

2人以上の連絡先を希望される方は、下記に記載ください。

(フリガナ) 氏 名		役職	
メールアドレス	@		
(フリガナ) 氏 名		役職	
メールアドレス	@		
(フリガナ) 氏 名		役職	
メールアドレス	@		

【問合せ先】〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌MNビル8階
 北海道経済連合会 食クラスター連携協議体事務局
 T E L : 011 - 221 - 6166 (食クラスターグループ)

食クラスター・プロジェクト提案書

食クラスター連携協議体では、参画いただいた方々の連携と協働でプロジェクトを推進することとしています。
プロジェクトの提案は、以下の様式に記入の上、事務局に郵送願います。

事務局記載	プロジェクト名	
	(フリガナ) 提案会社名	印
	(フリガナ) 共同提案会社名 及び担当者氏名	会社名 : 担当者氏名 :
	提案会社住所 電話・FAX メールアドレス	(〒 -) TEL : () - FAX : () - @
	プロジェクト の分類 <small>(をチェック、複数可。)</small>	a.新たな商品開発(加工)に着手したい(開発中含む) b.商品の付加価値を高めたい c.商品のマーケティング・販路拡大を行いたい d.専門家、資金、モノ、パートナーなどを探している (具体的に :) e.その他()
	プロジェクト の内容	(できるだけ詳細に記入下さい。必要に応じ、資料を添付下さい。)
	プロジェクトの 推進状況 <small>(をチェック、複数可。)</small>	a.構想段階 b.研究開発段階 c.事業実施中
	推進上の課題や 連携協議体に 期待すること	(できるだけ詳細に記入下さい。必要に応じ、資料を添付して下さい。)
	プロジェクトの取扱 <small>(必ず をチェック。)</small>	一般公開可 連携協議体事務局及び支援機関と相談

【問合せ先】 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌MNビル8階
北海道経済連合会 食クラスター連携協議体事務局
TEL : 011 - 221 - 6166 (食クラスターグループ)

多数の皆様のご参画をお待ちしています！

公式ホームページはこちら <http://www.fc-nw.jp/>

お問い合わせ先：「食クラスター連携協議体」事務局

北海道経済連合会(事務局代表)

食クラスターグループ(担当：本間、石川、小野、佐竹、若杉、早瀬)
/ TEL：011-221-6166、FAX：011-221-3608

北海道農業協同組合中央会

総合管理室(担当：岩田)
/ TEL：011-232-6409

北海道経済産業局

産業部 産業振興課(食関連担当)(担当：辻、大沼)
/ TEL：011-709-2311(内線2593)、011-736-9706

北海道

経済部 食関連産業振興室(担当：沖野、上野)
/ TEL：011-204-5979